

3 指導業務

県内外の木材加工業、住宅関連企業、設計事務所等を対象に、各研究部が行った技術相談・指導及び依頼試験の実績は以下のとおりである。

3-1 技術相談及び指導件数

(1) 件数 (累計)

年 度	13	14	15	16	計
材料開発部	31	83	126	74	314
木材加工部	62	218	224	189	693
構法開発部	134	229	355	378	1,096
企画管理課	—	—	40	27	67
計	227	530	745	668	2,170

(2) 依頼者内訳数 (累計)

年 度	13	14	15	16	計
企業・団体	173	402	548	481	1,604
行政機関	43	111	178	160	492
その他個人等	11	17	19	27	74
計	227	530	745	668	2,170

(注) 森林組合は企業・団体に、大学等教育機関は行政機関に含む。

(3) 主な試験及び相談・指導内容 (平成16年度)

		内 容
平成 16 年 度	材料開発部	・フローリング材塗装の白化原因・クスノキの繊維害虫忌避効果・柱材の含水率試験・高温乾燥スケジュール・スギ材の燻煙処理・スギ抽出成分等
	木材加工部	・金具接合部のめり込み試験方法・木材の干割れと強度・集成材の強度性能・家具用の木質ボード・スギ丸太のヤング率区分法・面格子壁等
	構法開発部	・大規模木造の設計法・天福球場屋根トラスの接合法・河川用木材仕様・熱伝導率測定・木質構造設計基準・外構用木材利用・土木資材への木材利用 ・綾町体育館圧密床・花峯橋の現状の性能・LVL複合パネル商品化 ・ボートデッキの仕様・ジベル接合トラスの商品化・木製ガードレール ・高欄手すりの構造計算・木共仕の改定出版・畜産施設木造標準設計・木橋の耐久設計・スギの釘保持力・大規模木造の耐火検証法

3-2 依頼試験内訳

(1) 依頼試験実績

年 度	13	14	15	16	計
依頼試験	125	141	171	81	518
金 額	1,572,860	1,392,610	1,833,485	736,450	5,535,405

(2) 試験内訳件数

試験内容／年度	13	14	15	16	計
短柱圧縮試験	2		1	4	7
床せん断試験	14	7			21
壁せん断試験	14	6	26	1	47
実大振動試験		1		4	5
曲げ試験	39	20	23	14	96
引張試験	9		5	3	17
長柱圧縮試験		2	4		6
熱伝導率測定試験			1	7	8
小試験体強度試験		56	42	14	112
耐候性試験	22	5	7		34
接着試験	12	11	7	3	33
含水率試験	6	18	27	5	56
乾燥試験(蒸気式)			1		1
収縮膨張試験		2	2	1	5
家具耐久性試		4	4	4	12
材質試験(低倍率)			3		3
材質試験(グレディング)			1		1
材質試験(組織観察)			4	1	5
吸音率測定試験				1	1
化学試験(可視紫外線試験)		1			1
動的ヤング係数測定試験	1	3	6	19	29
摩 耗 試 験			2		2
成績書の副本	6	5	5		16
合 計	125	141	171	81	518

(注) 曲げ試験には、小試験体強度試験を含む。

(3) 県内、県外別の試験内訳件数

年 度	13	14	15	16	計
県 内	109	111	130	40	390
県 外	16	30	41	41	128
計	125	141	171	81	518

3-3 研究会等の開催

3-3-1 シンポジウムの開催

オビスギに代表されるスギ材の特徴を検証し、そのメリットを再評価することによって、今後のオビスギの可能性を展望するために、NPO木の建築フォーラムと合同で県内外の研究者、建築設計事務所等を対象に「木の建築フォーラム／都城・スギシンポジウム 2004」を開催した。

研究会名	期日	内容	会場	参加人員
木の建築フォーラム／都城・スギシンポジウム 2004	11/27	<p>1 基調講演 「オビスギに材質の多様性をみる」 講師 宮崎大学農学部教授 北原 龍士</p> <p>2 パネルディスカッション テーマ 「オビスギにみる現代技術によるスギ材の利用とその展望」 (コーディネーター) 宮崎県木材利用技術センター 所長 有馬 孝禮 (パネリスト) 日南製材事業協同組合 理事長 高嶺 清二 (独) 森林総合研究所 構造利用研究 領域長 神谷 文夫 (株) 総合企画設計いわい 代表取締役 岩井 秀一郎 宮崎大学工学部土木環境工学科 教授 中澤 隆雄 宮崎県木材利用技術センター 構法開発部長 飯村 豊</p>	ウェルサンピア都城	150名

3-3-2 木材加工技術懇談会の開催

木材の需要拡大に繋がる研究開発をより推進するため、製材・加工・住宅関連企業等の需要ニーズを的確に把握することを目的として、関係者を招き、センターに対する意見、要望等を聴取する加工技術懇談会を県内2ブロックで開催した。

会議名	期日	開催場所	参加団体数	参加者数
第1回 木材加工技術懇談会	12/10	ホテルメリジュ延岡	団体 : 6 企業 : 4 行政機関 : 2	23名
第2回 木材加工技術懇談会	3/4	ガーデンベルズ小林	団体 : 6 企業 : 5 行政機関 : 2	21名

3-3-3 研究成果報告会

センターで取り組んでいる研究内容、成果を関係企業、団体、行政等に対し、報告会を開催した。

報告会名	期日	開催場所	参加者数
研究成果報告会	3/22	センター会議室	53名

研究チーム名	発表課題	発表者
材料開発チーム	シロアリとの共存をめざして	藤本 英人
乾燥チーム	あてを有するスギ太鼓材の乾燥	蛭原 啓文
木質材料チーム	スギ樹皮を用いた断熱材の開発	藤元 嘉安
構造強度チーム	宮崎県 スギ正角材のめり込み性能	田中 洋
木質構造チーム	スギ長スパン車道橋の可能性	飯村 豊
木質化推進チーム	比重なスギを使った内装兼用断熱型枠	齊藤 豊

3-3-4 各種研究会の開催

木材関連業者、研究者、建築事務所等によって木材全般について勉強会、講演会等を開催している。

研究会名	期日	会場	内容	参加人
宮崎県木材利用研究会	7/27	センター	研究発表会 ・スギ曲がり財を用いた2ピース積層材の開発 上杉 基 ・スギ構造材柱脚柱頭接合部のめり込みクリーブ 荒武 志朗 ・宮崎県産スギ柱材の乾燥特性に係わる材質指標 小田 久人 ・平成16年度都市エリア産学官連携促進事業 藤本 英人	47名
	1/20	センター	講演会 「スギと日本人、つきあいの歴史」 講師 東北大学大学院教授 鈴木 三男 「世界に誇る木造建築文化と職人技」 講師 富山国際職芸学院教授 上野 幸夫	51名
	3/22	センター	講演会 「新潟県中越地震と木造住宅ー継ぎ手・仕口接合と金物接合ー」 2×4住宅の着工戸数の増加は何を意味するか。 講師 山田事務所 所長 山田 稔	55名

3-4 講師派遣

派遣職員	期日	会議等の名称	内 容	依 頼 者
飯村 豊	16/7/8	平成 16 年度木材利用 推進「全国会議」	宮崎における木材利用 推進の展開	木材利用推進中央 協議会
飯村 豊	16/7/17	大分県木造建築研究会 第 107 回例会	集成材大型構造物の構造 設計と実施例	大分県木造建築 研究会
有馬 孝禮	16/8/23	宮征会	地球温暖化の防止と 地域資源の活用	日本政策投資銀行
有馬 孝禮	16/8/26	木材加工技術協会 木材の実用講座	環境問題を見据えた 木材利用の戦略	日本木材加工技術 協会
有馬 孝禮	16/9/8	土木学会全国大会	「何故今木材か」	土木学会
有馬 孝禮	16/9/9	群馬の木活用講座	「環境資源面から見た 木材利用の意義」	群馬県
有馬 孝禮	16/9/16	R&D ツアーセミナー	「木造関連プロジェクト の視点と展開ー地域環境 保全と地域活性化ー」	日本木材学会
齊藤 豊	16/9/16	R&D ツアーセミナー	「宮崎県の林務と建築行 政」	日本木材学会
飯村 豊	16/9/16	R&D ツアーセミナー	「大型木造建設の事例づ くー低比重スギを活用す る宮崎モデル」	日本木材学会
有馬 孝禮	16/9/18	地域材活用セミナー	木と健康	新潟県十日町 地域材活用協議会
有馬 孝禮	16/10/1	小中学校教職経験 10 年 経過一般研修	「地球温暖化と木材利用」	都城市教育委員会
藤元 嘉安	16/10/7	木質パネル研究会屋外 暴露プロジェクト中間 報告会（東京都）	「供試パネルの初期物性 （曲げ、IB、TS）」	日本木材学会木質 パネル研究会
小田 久人	16/10/8	林業改良指導員課題 研修（林産）	柱材の高温乾燥について	林業技術センター

講師派遣（つづき）

派遣職員	期日	会議等の名称	内 容	依 頼 者
有馬 孝禮	16/10/19	「木造住宅及び大型木造に台湾スギ(柳杉)を利用する技術」検討会	「環境・資源の面から見た木材利用の意義」	中華木質構造建築協会
飯村 豊	16/10/19	「木造住宅及び大型木造に台湾スギ(柳杉)を利用する技術」検討会	「低比重スギを利用した大型の木造構造物」	中華木質構造建築協会
有馬 孝禮	16/11/10	「地材地建」かごしま材の家づくりセミナー	住宅に県産材を使う意義	(財)鹿児島県住宅・建築総合セミナー
有馬 孝禮	16/11/11	平成 16 年度森林・林業活性化研修会	「森林資源と木材の多目的利用の視点から」	鹿児島県市町村林野振興対策協議会
飯村 豊	16/11/11	宮崎県産材販売促進フェア（スギトップセールス）	「大型木造建築物（変遷する木材利用技術）」	宮崎県
飯村 豊	16/11/30	平成 16 年度林産加工研修	地域材の集成材への利用	林野庁森林技術総合研修所
飯村 豊	16/12/2	第 11 回技術懇話会	変遷する木材利用技術	日本材科学会九州支部
飯村 豊	17/2/10	平成 16 年度木材利用研修〔建築用途〕	国産集成材による建築	林野庁森林技術総合研修所
有馬 孝禮	17/2/15	生存圏シンポジウム	持続的森林資源と木質構築物	京都大学生存圏研究所
迫田 忠芳 小田 久人 蛭原 啓文	17/2/25	平成 16 年度第 2 回木材乾燥技術者養成研修会（都城市）	スギ心持ち構造材の乾燥	宮崎県木材協同組合連合会
藤元 嘉安	17/3/19	木質断熱材開発委員会（大阪市）	「スギ樹皮断熱材開発に関する研究報告（平成 16 年度）」	国産材住宅共同組合
飯村 豊	17/3/29	日本航空宇宙学会西部支部総会特別講演	地域材オビスギの特性を活かした軽量木構造	日本航空宇宙学会西部支部

3-5 取材

氏名	取材日	取材内容	取材名
飯村 豊	2004/4/21	維持管理にシフト	橋梁新聞
飯村 豊	2004/7/18	スギ材の可能性を追求	朝日新聞
有馬 孝禮	2004/8/25	スギの比重高め強化	宮崎日日新聞
有馬 孝禮	2004/11/22	サンデー宮崎	UMK
藤本 英人	2004/12/3	シロアリやふん尿問題の 解決策発案	読売新聞
有馬 孝禮	2004/12/20	サエコの宮崎とお木 情報	MRT 商事
有馬 孝禮	2005/3/7	木材炭化時の突起物 らせん構造を発見	日刊工業新聞